

バラ園、憩いの場に

下関・安岡の前岡さん試行錯誤

田園風景が広がる下関市蒲生野に、地元の男性が6年前開設したバラ園「庵樹里菜(アンジュリーナ)」がある。今年3月に閉園した市園芸センターにほど近く、花と触れ合える新たな地域の憩いの場となっている。

男性は同市安岡町の前岡

英紀さん(79)。水産資材関連会社を定年退職後、無農薬の有機栽培をしてみたいと2016年に田んぼに囲まれた市の払い下げ地を入手。住居移転に伴い庭で育てていたバラの引き取り手を探していた妹夫婦から106株を譲り受け、野菜とともに植え付けた。



「気軽に花を楽しんでほしい」と話す前岡英紀さん
=3日、下関市蒲生野

バラに関しては「全くの素人」といい、園芸センターの講習会に1年間通って育て方を学び、試行錯誤しながら手入れしてきた。「最大の敵は害虫で、年に10株枯らしたことも。難しいが、育てたバラが美しい花を咲かせるとうれしいですね」と前岡さん。

バラ園は県道247号安岡港長府線から東に約500㊦の場所にあり、広さは330平方㊦。クリーム色の花びらに赤色の覆輪が入った「ダブルデライト」、大輪の深紅の花を咲かせる「パペイヤン」など約100種のバラとゼラニウムが植えられている。フジバカマもあり、春と秋には旅するチョウ、アサギマダラの姿も楽しめる。

そばの小道は地区住民の散歩道になっており、バラの華やかな香りに誘われて立ち寄る人も。趣味の日曜大工でテーブルやイス、日よけのある休憩スペースも作り、「気軽に花を楽しみ、のんびり過ごしてもらえたら」と話す。今シーズンはそろそろ終盤。次は9月に見頃を迎える。(久岡照代)